

レビューシート

レビュー項目 (事業名)	バーチャル企業訪問など県内大学生の地元就職促進 (大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト)				部(局)	総務部
					所管課	教育課
					担当班	連携教育推進班
					連絡先	078-362-3368
開始年度	平成28年度	終了年度	—	関連計画等	兵庫県地域創生戦略	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等	(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸
事業目的	(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸が有する産学官連携ネットワークを活用し、学生や大学教職員(キャリアセンター職員等)に対し、県内企業への理解促進と県内企業で働くことの魅力発信等につながる事業を展開することで、県内大学生の地元企業就職を促進し、県外への人口流出を抑制する。					
事業概要	○県内中小企業経営者による企業説明会の開催    ○県内若手経営者と学生との意見交換会の開催 ○就活学生への模擬面接会    ○学生・大学教職員による県内企業訪問 ○大学教職員と県内企業採用担当者との意見交換会					
これまでの改善状況						
業務フロー	委託(県)→実施(事業者)					

区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	5,808千円	5,984千円	5,936千円	5,936千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	5,808千円	5,984千円	5,936千円	5,936千円
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(2,904千円)	(2,992千円)	(2,968千円)	(2,968千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(2,904千円)	(2,992千円)	(2,968千円)	(2,968千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		5,984千円	5,984千円	5,936千円	5,936千円
	執行率((①/②)×100)		97.1%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③(a+b+c)	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
			840千円	830千円	874千円	862千円
職員給与費 a		727千円	719千円	761千円	751千円	
賞与引当金繰入額 b		58千円	58千円	58千円	58千円	
退職手当引当金繰入額 c		55千円	53千円	55千円	53千円	
総コスト(①+③)		6,648千円	6,814千円	6,810千円	6,798千円	

レビューシート

	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
評	成果指標(アウトカム指標①)	目 標	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%	
	県内大学卒業生の県内企業への就職率	実績(見込)	28.2%	29.8%	31.4%	31.4%	【R6年度】	
		(単位当たりコスト)	(23,574千円)	(22,866千円)	(21,688千円)	(21,650千円)		
		達成率(見込)	85.5%	90.3%	(95.2%)	(95.2%)		
価	成果指標(アウトカム指標②)	目 標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率(見込)	--	--	--	--		
指	成果指標(アウトカム指標③)	目 標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率(見込)	--	--	--	--		
標	活動指標(アウトプット指標①)	目 標	1,000	1,000	1,000	1,000		
	事業への参加者数	実績(見込)	972	1,094	(1,000)	(1,000)		
		(単位当たりコスト)	(7千円)	(6千円)	(7千円)	(7千円)		
		達成率(見込)	97.2%	109.4%	(100.0%)	(100.0%)		
指	活動指標(アウトプット指標②)	目 標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率(見込)	--	--	--	--		
標	活動指標(アウトプット指標③)	目 標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率(見込)	--	--	--	--		
標	終期設定	有 ( )					無	
	改善基準							
自 己 評 価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		・県内大学卒業生の県内企業就職率は事業開始当時から横ばいで推移(H28:29.8%→R2:29.8%)		・県内大学卒業生の県内企業就職率は、景気動向やコロナ等の外的要因の影響を受けることもあり、目標値33%に対し未達(R2実績:29.8%)が続いている。			
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		・事業の実施主体は県内大学の連携組織である(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸を活用 ・事業開始時から国の地方創生交付金を活用(国庫1/2)		・コロナ禍において、地方回帰の傾向が見られ、県内就職をてこ入れするため、事業継続が必要である。			
課 題 ・ 今 後 の 方 向 性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他							
	説明	コロナ禍でオンライン面接の導入など就職活動の実態が変化していることから、オンライン面接技法講習の実施や県内優良企業へのバーチャル企業訪問の実施などICTを活用した事業を積極的に取り入れるなど事業内容の改善を検討。						
外 部 委 員 会 意 見								
改善結果								

## レビューシート

レビュー項目 (事業名)	オンライン技術を活用した手話の普及促進 (手話普及促進事業)				部(局)	福祉部	
					所管課	ユニバーサル推進課	
					担当班	社会参加支援班	
					連絡先	078-362-4379	
開始年度	平成25年度	終了年度	—	関連計画等	ユニバーサル社会づくりの推進に関する条例、障害者等による情報の取得及び利用並びに意思疎通の手段の確保に関する条例(愛称:ひょうご・スマイル条例)、第2期ひょうご障害者福祉計画、第6期兵庫県障害福祉実施計画		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他(        )				実施主体等	兵庫県聴覚障害者協会	
事業目的	本県では、平成30年4月、障害の有無や性別、年齢等に関わりなく、県民一人ひとりがその個性や才能を發揮して、いきいきと活躍できる社会を実現するため、「ユニバーサル社会づくりの推進に関する条例」および「障害者等による情報の取得及び利用並びに意思疎通の手段の確保に関する条例」を施行しているが、県内ではいまだ手話に対する理解が浸透しているとは言えない状況である。そこで、聴覚障害者に対する県民の理解を深め、手話を広く普及することを目的に、各種講座を開催する。						
事業概要	対象を細かく分類し、対象に適した各種手話講座を実施 1 手話を広く県民に普及 ①若者を対象とした手話講座、②県民向け手話講座、③出前手話講座(施設、企業等) 2 聴覚障害者と接する機会のある専門職の手話技術・理解向上 ④看護職向け手話講座、⑤手話通訳者レベルアップ講座、⑥手話講師スキルアップ講座 3 聴覚障害者本人の手話習得支援 ⑦聴覚障害児向け手話講座(ひよこ)						
これまでの改善状況	令和元年より、手話講座のより効果的な実施を目的に3つの区分に分類の上、講座を拡充 Ⅰ手話を広く県民に普及                            ③出前手話講座(施設、企業等) Ⅱ聴覚障害者と接する機会のある専門職の手話技術・理解向上 ④看護職向け手話講座、⑤手話通訳者レベルアップ講座) Ⅲ聴覚障害者本人の手話習得支援    ⑦聴覚障害児向け手話講座)						
業務フロー	県 (事業委託) ⇒ 兵庫県聴覚障害者協会						
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額	
	事業費①		20,548 千円	23,644 千円	23,759 千円	22,734 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		委託料	20,548 千円	23,644 千円	23,759 千円	22,734 千円	
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		(財源内訳)	(国庫)	(10,274千円)	(11,822千円)	(11,879千円)	(11,367千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(10,274千円)	(11,822千円)	(11,880千円)	(11,367千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		21,754 千円	23,644 千円	23,759 千円	22,734 千円	
	執行率((①/②)×100)		94.5%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 0.2人	従事人員 0.2人	従事人員 0.2人	従事人員 0.2人	
		1,679 千円	1,797 千円	1,746 千円	1,746 千円		
職員給与費	a	1,454 千円	1,539 千円	1,521 千円	1,521 千円		
	賞与引当金繰入額 b	116 千円	110 千円	116 千円	116 千円		
	退職手当引当金繰入額 c	109 千円	148 千円	109 千円	109 千円		
	総コスト(①+③)	22,227 千円	25,441 千円	25,505 千円	24,480 千円		

レビューシート

指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】		
評価	成果指標(アウトカム指標①) 手話通訳士・手話通訳者登録者数 (第6期兵庫県障害福祉実施計画)	目標	-	373	381	391	401	
		実績(見込)	392	288	302	(391)	【R5年度】	
		(単位当たりコスト)	(57千円)	(88千円)	(84千円)	(63千円)		
	達成率(見込)	--	77.2%	79.3%	(100.0%)			
	成果指標(アウトカム指標②) 県民向け等手話講座参加者延べ人数 (H26~)	目標				33,411	41,051	
		実績(見込)	17,300	21,438	25,771	(33,411)	【R5年度】	
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(1千円)	(1千円)	(1千円)		
	達成率(見込)	--	--	--	(100.0%)			
	価値	成果指標(アウトカム指標③)	目標					
			実績(見込)					
			(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
			達成率(見込)	--	--	--	--	
指標	活動指標(アウトプット指標①) 県民向け等手話講座参加者数 (第6期兵庫県障害福祉実施計画)	目標		4,000	7,640	7,640	7,640	
		実績(見込)	4,599	4,138	4,333	(7,640)	【R5年度】	
		(単位当たりコスト)	(5千円)	(6千円)	(6千円)	(3千円)		
	達成率(見込)	--	103.5%	56.7%	(100.0%)			
	活動指標(アウトプット指標②)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率(見込)	--	--	--	--			
	活動指標(アウトプット指標③)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率(見込)	--	--	--	--			
終期設定	有 ( ) ・ (無)							
改善基準	-							
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)				
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	県民のニーズを踏まえ、手話講座の効果的な実施を目的に、受講対象を細かく分類し、各種講座を設定して事業を実施してきたが、新型コロナウイルスの影響により参加者が激減し、評価指標を大幅に下回る実績となった。手話という専門性の高い分野であるため、民間での事業実施は見込めない。		新型コロナウイルスの影響により、参加者が集まらず、予定していた実施回数を大幅に下回る結果が続いており、今後も、暫く同様の状況が続くと考えられる。ポストコロナ社会においては、ICT等を活用した、安心して効率的な開催方法等を検討する必要がある。				
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など	一部、ZOOMを用いたオンライン実施を試み、業務改善を行っているが、実技実習の必要性から、完全なオンライン実施は難しい。聴覚障害者への理解促進を目的にした普及啓発の要素を含むため、受益者負担を求めるのは困難。						
課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 ( 聴覚障害者への理解の普及及び啓発を目的とする「県民向け手話講座」及び「出前手話講座」について、開催方法等の改善を検討 )								
外部委員会意見								
改善結果								

レビューシート

レビュー項目 (事業名)	オンライン研修を通じた訪問看護ステーションの教育支援の強化（訪問看護ステーション教育支援強化事業）				部（局）	保健医療部	
					所管課	医務課	
					担当班	医療人材確保班	
					連絡先	078-362-3251	
開始年度	令和元年度	終了年度	令和7年度	関連計画等	-		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等	訪問看護事業所等	
事業目的	身近な地域において、訪問看護ステーションの訪問看護師が実践的な研修・助言等が受けられる仕組みを整備し、在宅看護体制の強化を促進するとともに、訪問看護師の定着促進・離職防止を図る。						
事業概要	教育ステーションとして県が指定した機能強化型Ⅰ又はⅡの訪問看護ステーションに対して、①教育ステーションが同行訪問する際に要する経費、②地域ごとの課題に応じたテーマ別研修や地域医療機関等と連携し、他職種合同研修を実施に要する経費を補助する（補助率1/2）。						
	<機能強化型ステーションの主な要件>						
	区分	常勤看護職員の数・割合	実績要件				
	強化型Ⅰ	7人以上・6割以上	ターミナルケア件数：20件/年、又は超重症児等の利用が常時6人以上 等				
	強化型Ⅱ	5人以上・6割以上	ターミナルケア件数：15件/年、又は超重症児等の利用が常時5人以上 等				
これまでの改善状況	-						
業務フロー	①県看護協会等と協議し、小規模訪問看護ステーションに対して実践的な研修・助言等が可能な事業者を指定 ②指定した教育ステーションから申請を受理 ③随時、希望者に対して同行訪問・研修等を実施						
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額	
	事業費①		423 千円	103 千円	15,100 千円	15,100 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		補助金・交付金	423 千円	103 千円	15,100 千円	15,100 千円	
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)医療介護推進基金	(423千円)	(103千円)	(15,100千円)	(15,100千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		15,100 千円	15,100 千円	15,100 千円	15,100 千円	
	執行率((①/②)×100)		2.8%	0.7%	100.0%	100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	
			840 千円	830 千円	874 千円	862 千円	
職員給与費	a	727 千円	719 千円	761 千円	751 千円		
賞与引当金繰入額	b	58 千円	58 千円	58 千円	58 千円		
退職手当引当金繰入額	c	55 千円	53 千円	55 千円	53 千円		
総コスト(①+③)		1,263 千円	933 千円	15,974 千円	15,962 千円		

レビューシート

評価	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標(アウトカム指標①)	目標	72,084	72,706	73,376	74,095
看護職員数(兵庫県看護職員需給推計) (※)看護職員業務従事者届による隔年調査(実績把握は翌年度6月頃)		実績(見込)	70,536	※	※	※	【令和7年度】
		(単位当たりコスト)	(0千円)	--	--	--	
		達成率(見込)	97.9%	--	--	--	
成果指標(アウトカム指標②)		目標	-	24	29	34	40
機能強化型訪問看護ステーションを有する圏域の数		実績(見込)	-	24	(24)	-	【令和5年度】
		(単位当たりコスト)	--	(39千円)	(666千円)	--	
		達成率(見込)	--	100.0%	(82.8%)	--	
成果指標(アウトカム指標③)		目標	-	-	-	5	10
教育ステーション設置数		実績(見込)	4	4	(4)	(4)	【令和7年度】
		(単位当たりコスト)	(316千円)	(233千円)	(3,994千円)	(3,991千円)	
		達成率(見込)	--	--	--	(80.0%)	
活動指標(アウトプット指標①)	目標	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	
同行訪問実施回数	実績(見込)	55	14	(121)	-	【各年度】	
	(単位当たりコスト)	(23千円)	(67千円)	(132千円)	--		
	達成率(見込)	0.8%	0.2%	(1.8%)	--		
活動指標(アウトプット指標②)	目標	40	40	40	40	40	
集合研修実施回数	実績(見込)	9	2	(8)	-	【各年度】	
	(単位当たりコスト)	(140千円)	(467千円)	(1,997千円)	--		
	達成率(見込)	22.5%	5.0%	(20.0%)	--		
活動指標(アウトプット指標③)	目標						
	実績(見込)						
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率(見込)	--	--	--	--		
標	終期設定	有(令和7年度)					無
改善基準							
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民ニーズを的確に踏まえた事業か</li> <li>・民間での事業実施は見込めない事業か</li> <li>・指標・目標設定は適切か</li> <li>・活動実績は十分か</li> <li>・想定された成果を達成しているか など</li> </ul> <p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改革に取り組んでいるか</li> <li>・コスト削減の工夫を行っているか</li> <li>・ICTや民間活力は活用しているか</li> <li>・受益者負担は適正か</li> <li>・財源確保の工夫は行っているか など</li> </ul>	<p>○令和7年には看護職員は約4,000人の不足が見込まれており、特に看護師の確保が重要であるため、社会背景に合致した事業である</p> <p>○新型コロナの影響もあり、事業実績としては伸び悩んでいるが、事業者からのニーズには応えられている</p> <p>○事業終期を令和7年度としていること、県・事業者=1:1の負担割合であり、事業者にも負担を求めながら実施しており、適正なコスト設定による支援制度となっている</p>		<p>○訪問看護ステーション数は年々増加しており、教育ステーションによる小規模事業所へのサポート体制の必要性はさらに高まっている</p> <p>○事業所が多い主要な圏域(神戸・阪神南・中播磨)には教育ステーションを設置することができているが、その他の圏域においては未設置であり、設置に努めることが必要</p> <p>○また、新型コロナの影響や、事業周知が十分でないこと等により、教育ステーションが設置できている圏域においても、同行訪問・集合研修ともに実績が低調であるため、同行訪問等の実施促進に向けた改善が必要</p>			
外部委員会意見	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他					
	説明	未設置の圏域における教育ステーションの設置促進や、設置後の教育ステーションによる同行訪問等の実績増を図るため、オンライン活用による支援を可能とする等の運用の改善を検討					
改善結果							

レビューシート

レビュー項目 (事業名)	教育副読本のデジタル化および家庭・地域での活用促進 (教育副読本配布事業)				部(局)	教育委員会事務局																
					所管課	義務教育課・教育企画課																
					担当班	生徒指導班・教育企画班																
					連絡先	078-362-3773・078-362-3214																
開始年度	平成9年度	終了年度	—	関連計画等	第3期ひょうご教育創造プラン																	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業																					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等	兵庫県																
事業目的	人間尊重の精神や生命に対する畏敬の念を培うとともに、人間としてよりよく生きるための基盤となる道徳性の育成や、阪神淡路大震災を語り継ぎ、激甚化する気象災害等から自らの生命を守る能力、共生を育む心の育成を行うために、効果的な副読本を作成し、指導体制の充実や家庭・地域との連携の推進し、豊かな心の育成を図る。																					
事業概要	兵庫ゆかりの著名人からのメッセージや地域の伝統文化、阪神淡路大震災の被災県としての経験等、教科書には載っていない兵庫県ならではの地域に根ざした、兵庫の道徳教育・防災教育の充実を図るため、教育副読本を作成・配布し、学校教育活動全体を通じて活用するとともに、家庭での有効活用も促進することで、児童生徒の豊かな情操や規範意識、他者への思いやりの心を育成する。																					
これまでの改善状況	平成22年度：道徳教育副読本の発行 平成23・24年度：防災教育副読本の改訂 令和4・5年度：防災教育副読本の改訂				<table border="1"> <tr> <td>副読本</td> <td>道徳教育副読本</td> <td>防災教育副読本</td> </tr> <tr> <td>配布対象</td> <td>個人</td> <td>学校</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>小学校低学年用 小学校中学年用 小学校高学年用 中学校用</td> <td>小学校低学年用 小学校高学年用 中学校用 高等学校用</td> </tr> <tr> <td>作成部数</td> <td>約19万部</td> <td>約29万部</td> </tr> <tr> <td>作成・配布</td> <td>毎年度</td> <td>H23・H24 (改訂時)</td> </tr> </table>			副読本	道徳教育副読本	防災教育副読本	配布対象	個人	学校	種類	小学校低学年用 小学校中学年用 小学校高学年用 中学校用	小学校低学年用 小学校高学年用 中学校用 高等学校用	作成部数	約19万部	約29万部	作成・配布	毎年度	H23・H24 (改訂時)
副読本	道徳教育副読本	防災教育副読本																				
配布対象	個人	学校																				
種類	小学校低学年用 小学校中学年用 小学校高学年用 中学校用	小学校低学年用 小学校高学年用 中学校用 高等学校用																				
作成部数	約19万部	約29万部																				
作成・配布	毎年度	H23・H24 (改訂時)																				
業務フロー	道徳教育副読本の作成 → 毎年度個人へ配布を実施 防災教育副読本の作成・改訂 → 改訂後、各学校に配布																					

区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	17,100 千円	15,600 千円	12,000 千円	13,000 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	17,100 千円	15,600 千円	12,000 千円	13,000 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(17,100千円)	(15,600千円)	(12,000千円)	(13,000千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		17,100 千円	15,600 千円	12,000 千円	13,000 千円
	執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人
			1,679 千円	1,658 千円	1,746 千円	1,723 千円
		職員給与費 a	1,454 千円	1,437 千円	1,521 千円	1,502 千円
賞与引当金繰入額 b		116 千円	116 千円	116 千円	116 千円	
退職手当引当金繰入額 c		109 千円	105 千円	109 千円	105 千円	
総コスト(①+③)		18,779 千円	17,258 千円	13,746 千円	14,723 千円	

レビューシート

	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】
評価	成果指標(アウトカム指標①)	目標	81.2	中止	76.9	R4.7目標	全国平均を上回る
	自分には良いところがあると思う生徒の割合(小学校)	実績(見込)	82.8	中止	77.1	R4.7目標	
		(単位当たりコスト)	(227千円)	--	(178千円)	--	
		達成率(見込)	102.0%	--	(100.3%)	--	
	成果指標(アウトカム指標②)	目標	74.1	中止	76.2	R4.7目標	全国平均を上回る
	自分には良いところがあると思う生徒の割合(中学校)	実績(見込)	74.5	中止	76.5	R4.7目標	
		(単位当たりコスト)	(252千円)	--	(180千円)	--	
		達成率(見込)	100.5%	--	(100.4%)	--	
	成果指標(アウトカム指標③)	目標	50	55	60	65	70 (R5)
	地域と連携した防災訓練を実施した学校の割合(小学校)	実績(見込)	51.9	36.1	38.4	(65)	
		(単位当たりコスト)	(362千円)	(478千円)	(358千円)	(227千円)	
		達成率(見込)	103.8%	65.6%	(64.0%)	(100.0%)	
成果指標(アウトカム指標④)	目標	35	40	45	50	55 (R5)	
地域と連携した防災訓練を実施した学校の割合(中学校)	実績(見込)	25.3	21.8	22.8	(50)		
	(単位当たりコスト)	(742千円)	(792千円)	(603千円)	(294千円)		
	達成率(見込)	72.3%	54.5%	(50.7%)	(100.0%)		
指標	活動指標(アウトプット指標①)	目標	6	6	6	6	6時間確保
	子どものふるさと意識を醸成するため、兵庫版道徳教育副読本を活用した年間授業時間(小学校)	実績(見込)	5.9	5.9	(6)	(6)	
		(単位当たりコスト)	(3,183千円)	(2,925千円)	(2,291千円)	(2,454千円)	
		達成率(見込)	98.3%	98.3%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標	6	6	6	6	6時間確保
	子どものふるさと意識を醸成するため、兵庫版道徳教育副読本を活用した年間授業時間(中学校)	実績(見込)	5.9	5.6	(6)	(6)	
		(単位当たりコスト)	(3,183千円)	(3,082千円)	(2,291千円)	(2,454千円)	
		達成率(見込)	98.3%	93.3%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標③)	目標	100	100	100	100	100%
	「兵庫の防災教育」の推進を図るため、県内公立学校における教育活動での防災教育副読本の活用率	実績(見込)	93.4			(100)	
		(単位当たりコスト)	(201千円)	--	--	(147千円)	
		達成率(見込)	93.4%	0.0%	(0.0%)	(100.0%)	
標	終期設定	有 ( )					無
標	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民ニーズを的確に踏まえた事業か</li> <li>・民間での事業実施は見込めない事業か</li> <li>・指標・目標設定は適切か</li> <li>・活動実績は十分か</li> <li>・想定された成果を達成しているか など</li> </ul> <p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改革に取り組んでいるか</li> <li>・コスト削減の工夫を行っているか</li> <li>・ICTや民間活力は活用しているか</li> <li>・受益者負担は適正か</li> <li>・財源確保の工夫を行っているか など</li> </ul>	<p>道徳教育副読本は、子どもたちが郷土に誇りを持つとともに、自己の生き方について考えることができる教材として、計画的に活用している。</p> <p>防災教育副読本は、防災教育に特化した唯一の教材であり、様々な自然災害から自ら命を守り、主体的に判断し行動する力を育成するために、活用している。</p>		<p>道徳教育副読本は、兵庫の教育の基本理念である「兵庫が育むところ豊かで自立する人づくり」に寄与しており、子どもにとっては道徳教育で、保護者にとっては家庭教育で、地域住民にとっては、地域の子育てを考える地域教材として、引き続き活用を促進していく。</p> <p>防災教育副読本は、「兵庫の防災教育」の推進に寄与しており、実践的な防災教育の実施を図るために、引き続き活用を促進していく。</p>			
評価	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他					
	<p>説明</p> <p>( GIGAスクール構想による1人1台端末のもと、効果的に学習できるように副読本の電子化等を検討。併せて、副読本の活用率向上が図られるよう活用方法を検討 )</p>						
外部委員意見							
改善結果							